

東北地方太平洋沖地震に関する対策会議（第８回）

日時：平成２３年３月１３日（日）

１６時３０分～

場所：県庁１０階 防災センター

次 第

１ 開会

２ 議題

（１） 現地の対応状況について

（２） 県の支援について

３ その他

H23. 3. 13

16:00現在

東北地方太平洋沖地震に対しての県の対応状況等

_____は第6回会議以降に追加・修正した事項

1 医療救護関係

(1) DMAT

- ①日本赤十字社福井県支部1チーム(7名)を宮城県へ派遣(3月11日17:35)
宮城県へ到着(3月12日5:13)

活動内容:

- ・仙台市内で救護活動、活動を終了し帰福(3月13日16:00予定)

- ②県立病院1チーム(5名)を福島県へ派遣(3月11日20:00)
福島県へ到着(3月12日5:47)

活動内容:

- ・二本松市において被ばく患者のトリアージ業務
(3月13日10:34~)

交替チーム(6名)を福島県へ派遣(3月13日15:15)

- ③福井大学医学部附属病院1チーム(5名)を宮城県へ派遣(3月11日21:55)
宮城県へ到着(3月12日9:10)

活動内容:

- ・仙台医療センターにおいてER業務、活動を終了し帰福
(3月13日13:00)

- ④福井県済生会病院1チーム(6名)を福島県へ派遣(3月11日23:30)
福島県へ到着(3月12日12:45)

活動内容:

- ・仙台医療センターにおいてER広域搬送業務、活動を終了し帰福
(3月13日15:00)

(2) 救護班

- ①日本赤十字社福井県支部第1救護班(8名)を岩手県へ派遣
(3月11日20:15)

岩手県へ到着(3月12日11:15)

活動内容:

- ・広域搬送拠点の消防学校で救護活動を実施(12:00)
- ・盛岡赤十字病院から要請受け、陸前高田市の第一中学校へ移動
(16:50)

- ・ 第一中学校に到着（19:45）、避難者 1200 人の救護活動を開始（～3 月 13 日 11 時まで）
- 日本赤十字社福井県支部第 2 救護班（7 名）を岩手県へ派遣予定（3 月 13 日 17:00 出発予定）

2 救出救助関係

(1) 福井県警察

- ① 福井県警察広域緊急援助隊（第 1 陣）40 名（車両 8 台、バイク 3 台）を宮城県へ派遣（3 月 11 日 18:11）、（第 2 陣）10 名（車両 3 台）を岩手県へ派遣（3 月 12 日 12:10）

（第 1 陣） 宮城県仙台市到着 3 月 12 日 11:00

（第 2 陣） 岩手県宮古市到着 3 月 13 日 4:55

活動内容：

- ・ 第 1 陣 仙台南警察署管内で救助活動等を実施
- ・ 第 2 陣 二陣宮古警察署管内で検視等を実施

(2) 福井県

- ① 福井県防災ヘリコプター（隊員 5 名、操縦士 1 名、整備士 1 名）を福島県へ出動（3 月 12 日 7:32）→ 福島空港到着（9:46）

活動内容：

- ・ 南相馬市原町全域の海岸沿いで搜索救助活動実施（14:10）
→要救助者等発見に至らず
- ・ いわき市豊間海水浴場付近で搜索救助活動実施（3 月 13 日 8:40）
→要救助者等発見に至らず
- ・ 相馬市尾浜「松川造船」近くの孤立者 2 名の救出（12:49）

(3) 消防

- ① 緊急消防援助隊 20 隊（82 名）を岩手県へ派遣（3 月 12 日 1:58）
岩手県へ到着（18:20）

活動内容：

- ・ 岩手県陸前高田市で東京消防庁の指揮下に入り 3 班体制で搜索活動中（3 月 13 日 9:00）

3 情報収集関係

(1) 福井県

- ① 県職員 3 名を宮城県へ派遣（3 月 11 日 18:11）現在、仙台南 IC（9:30）

活動状況：

- ・ 宮城県の災害対策本部にて情報収集と被災現場の状況調査
- ② 県職員 1 名を岩手県へ派遣 (3 月 12 日 0:15) (緊急消防援助隊に同行)
- ③ 県職員の被災建築物応急危険度判定士 6 名を派遣待機

4 資材等の提供

(1) 給水車

①福井市

給水車 1 台 (4t) (2 名) と指揮車 1 台 (2 名) を新潟方面へ派遣
(3/12~3/31 まで) (活動地域未定)

②越前市

給水車 1 台 (2t) (2 名) を新潟方面へ派遣予定

- ・ 水道協会中部支部から出発見合わせ連絡受け待機中

③鯖江市

給水車 1 台 (2t) (2 名) を新潟方面へ派遣予定

- ・ 水道協会中部支部から出発見合わせ連絡受け待機中

(2) モニタリング資材

①福井県

モニタリングカー 1 台、可動式モニタリングポスト 2 台と県職員 6 名を福
島県へ派遣 (3 月 12 日 14:10)

活動状況：

- ・ 環境放射線のモニタリング調査の実施 (予定)

5 救援物資の輸送

①福井市

・ 飲料水 5,000 本、非常食 12,000 食、発電機 2 台、毛布 230 枚、
寝袋 60 枚、給水車 1 台を岩手県盛岡市、茨城県結城市へ輸送

②全国原子力発電所所在市町村協議会 (敦賀市、美浜町、おおい町、高浜町、 高島市)

・ 飲料水 6,300 本、非常食 1,800 食、ブルーシート 710 枚、毛布 2,600 枚
粉ミルク 1,000 食、おかゆ 500 缶、クラッカー 700 食などを宮城県石巻
市、女川町へ輸送

③敦賀市

・ 飲料水 1700 リットル、非常食 1,000 食、毛布 1,000 枚、ブルーシート
500 枚、粉ミルク 1,000 食を茨城県水戸市へ輸送

④坂井市・あわら市

・ カセットコンロ 100 台、カセットボンベ 500 セット、飲料水 9,600 本、

アルファ米 2,500 食、簡易トイレ 20 セット、やかん 100 個などを宮城県仙台市へ輸送

⑤勝山市

- ・毛布 200 枚、飲料水 360 本、おかゆ 500 食、マスク 1,000 枚、給水パック 600 枚を岩手県へ輸送

東北地方太平洋沖地震に伴う被災県への支援について

1 救援物資

(1) 福井県（第1次提供物資）

①生活物資

毛布7,000枚、簡易トイレ100台、紙おむつ3,400枚

＊なお、市町が備蓄している物資のうち、提供可能な物・量を調査中

②原子力関係資機材の対応

資機材： ポケット線量計100個 防護マスク200枚

防護服100着

薬品： ヨウ化カリウム丸 32,000丸（大人）

ヨウ化カリウム粉末 500g（子供用）

(2) 県民からの救援物資

被災県が必要とする生活物資について、受付窓口の設置を検討

2 義援金

県庁および各合同庁舎に義援金窓口の設置を検討中

3 災害見舞金

被災県（災害救助法の適用県）に対して、災害見舞金を支出する方向で検討中

4 人的支援（岩手県、福島県、宮城県へ派遣）

① 保健師等の派遣を検討中

② DMAT 被爆者スクリーニングの派遣

県立病院 DMAT 第2班が出発（13日 15:00）

③ 技術者の派遣を検討中

ア震災建築物応急危険度判定士・被災宅地危険度判定士の派遣

イ仮設住宅建設対応の技師（建築）の派遣

ウ公共土木施設などの復旧対応の技師（農林・土木）の派遣等検討中

④ モニタリング技術者の派遣

福島県へ技術者4人を派遣し活動中

⑤ 情報収集職員の派遣

現在、岩手県1人、福島県2人、宮城県3人を各県の災害対策本部へ派遣し活動中

5 ボランティア

被災地の状況把握のため岩手県、福島県、宮城県に職員を派遣

- 災害ボランティアセンター連絡会で、3月14日からボランティア登録の受付を開始

6 県内企業の被害状況

県が調査を行った東京都以北で工場もしくは営業所のある33企業においては、建物等に一部被害を受けた企業はあったが人的被害はなかった。